

西郷地区コミュニティ推進協議会

～みんなが主役 心かよい合う にしごう～

第3次

地域づくり計画

<https://nishi-go.jp/>



もくじ

- 1 P1 はじめに
- 2 P2~5 地域カルテ / 西郷地区の沿革と行政区の由来
- 3 P6~7 人口推移データ
- 4 P8~9 住民アンケートの集計結果
- 5 P10 西郷地区データ
- 6 P11 地域づくり計画について
- 7 P12~13 西郷に想う事 / 意見のプランニング
- 8 P14~15 計画への反映
- 9 P16~17 地域づくり計画更新
- 10 P18 これまでの事業に対する評価
- 11 P19~22 計画策定に対する意見一覧
- 12 P23 策定委員名簿



地 域 名：登米市南方町西郷地区

〒987-0432

宮城県登米市南方町堤田38 西郷公民館内

TEL:0220-58-4556

FAX:0220-58-4581

公民館HP



公民館だより



FACEBOOK



はじめに

西郷地区コミュニティ推進協議会

会長 堀内 正孝

西郷地区コミュニティ推進協議会は、昭和48年に「宮城のモデルコミュニティ地区」として、宮城県の指定を受け、以後、脈々と地域の発展を目指し、50年の長きにわたって頑張ってきました。

現在は、西郷地区における住民の自主活動を促進し、住民相互の連帯感と自治意識の高揚を図るとともに調査研究とコミュニティ地域づくり計画・活動を通じ、地域の創意を盛り上げながら健康で安全な住みよい地域を創ることを目的とし、会員皆様のご支援・ご協力をいただきながら活動を展開しております。

本年度、令和7年度から令和11年度までの「第3次地域づくり計画」を策定するにあたり、各行政区から推薦頂いた理事を含んだ24名に地域づくり計画策定委員として委嘱し構成しました。

更に、支援チームとして、とめ市民活動プラザと登米市市民協働課の協力を頂きながら、西郷公民館を事務局として、第1回「地域づくり計画策定会議」を令和6年9月19日に開催し、それ以降、令和7年2月20日まで、延べ5回にわたって「地域づくり計画策定会議」を開催しました。

地域で取り組むことについて生の声をお聞きしながら活発に意見を出し合い「地域づくり計画」の内容や方向性について、慎重に協議・検討を重ねて参りました。

以上の経過を経て、この度「みんなが主役 心かよい合う にしごう」をキャッチフレーズとし、「つながりある元気な地域」、「ささえあう地域」、「みんなで守る地域」の3項目を、計画目標のコンセプトとした「第3次地域づくり計画」を完成することが出来ました。

これからは、住民一人一人が積極的に率先し、主役となって実践していくことが求められており、今こそ地域の力が必要です。

自らの地域を次世代に自信を持って引き継ぎ誇れるより良い地域づくりは、一人でも多くの人々が関わり協力し合いながら進める必要があります。

西郷地区コミュニティ推進協議会は、設立の目的達成のため市をはじめとする関係機関並びに各種団体と連携を図りながら、幅広く多くの住民に参加を呼び掛けるとともに誰もが気軽に参加でき、楽しめる地域づくり活動を推進していきます。

今後とも会員皆様のご理解あるご支援・ご協力をお願いし発刊にあたっての挨拶といたします。



地域カルテ

西郷地区の沿革 / 行政区の由来



西郷地区は、登米市南方町の西部に位置し、狼掛区、畑岡区、柳沢区、沼崎区、一ノ曲区、苔上区、平貝区、須崎区の8区で構成されています。

本地区には平貝清水公園に湧き水があり、平成2年に南方町（現登米市）文化財として指定されました。南方町には昔、七つの清水と八つの沢があり「七清水八沢」と語り継がれてきましたが、その清水も開発等によって消滅し、現存するのは平貝清水の1つとなりました。穏やかに流れるその清水は、水量の変化も少なく、誰でも触れることができるため、長く地域住民に親しまれています。

地区の主な産業は農業であり、稲作、畜産（繁殖牛、肥育牛）、園芸（野菜、果樹）などの複合経営が行われています。

しかし、近年は農業人口の減少に加え、少子高齢化も進行し、地域の大きな課題となっています。将来的にも、地域コミュニティが成り立ちにくくなるのではと懸念されるどころです。特に、西郷駐在所や西郷幼稚園が廃止された影響は大きく、さらに地域の中心である西郷小学校が令和10年度統合される予定です。そうした中、ますます地域住民の絆や繋がりが必要とされています。

▶ 地区構成：8地区

▶ 狼掛（おいのがけ） / 畑岡（はたおか） / 柳沢（やなぎさわ）
 沼崎（ぬまさき） / 一ノ曲（いちのまがり） / 平貝（ひらがい）
 苔上（こけかみ） / 須崎（すさき）

地域カルテ

西郷地区の沿革 / 行政区の由来



狼掛公民館

狼掛 (おいのがけ)

前九年の役のこと、安部頼時征伐のためこの地まで進んで来た源義家軍の一隊は、日没のため夜営をした。さて夜になると気味悪い遠吠えと共におびただしい狼の大軍に囲まれてしまった。この狼の群がしたたかな奴らで、追ってもおどしても逃げも去りもしない。敵前なので火を焚くわけにもいかず、隙をみせると牙をむいて跳びかかって来る。その眼の恐しいこと。蒼く輝いて人魂のようだ。刀で斬りつけると血の

匂いに狂って猛りたつ始末で、一匹二匹たおしても恐れ入るような連中ではなかった。とうとう明け方近くまで悪戦苦闘して何の得にもならず怪我人が大勢でた。狼軍は明るくなる前に何処ともなく消えうせた。後に残された狼の死体は木の股に掛けならべて全軍にその恐しさを知らせた。それからこの地は狼掛といわれるようになった。狼は蝦夷より始末が悪いと思った。



畑岡公民館

畑岡 (はたおか)

田村麻呂将軍が大岳丸征伐の時のことだ。本隊は迫川沿いに進めて、東の方から西に向って大岳山に攻め寄せることにした。ただ攻めたのでは逃げられてしまうので、一隊を西郷辺りに伏兵として先廻りさせておきたい。中津山の高みから眺めると、西郷はほんの一走りの近さに見えた。だけどその間には干貫谷地があって、その中を迫川がくねっているのが少し気にかかったが、軽装の歩兵を使えば何とかなる。あの川さ

え渡れば成功だと思った。そこで選ばれた一隊は道もない谷地へと踏み込んだ。背丈を超える葦や萱を押し分け掻き分け進むうちに方向が全くわからなくなった。川を越えても又前方に川が現れ、何度渡ったのか覚えがない。そのうち日は暮れかかって途方にくれてしまった。とその時、カラスの大群が飛んでいくのが目にはいった。山のねぐらに帰るところに違いないと思ったから、その後について行ったら、ぞうさなく谷地を抜け出ることが出来た。たどり着いた岡の上に旗を立て後に続く人達の目印とした。それからこの場所は旗岡と呼ぶようになったそうだ。やがて大岳丸は亡び土着の人々も王化に馴れて農耕に励んだので田や畑が増えて旗岡は畠岡となり今は畑岡となった。



柳沢生活センター

柳沢 (やなぎさわ)

柳沢区は、角欠、間内、柳沢の三つの集落がまとまったもので氏神様はそれぞれ別の神様を祀っている。角欠は秋葉権現、間内は新山権現、柳沢は沼崎区と一緒にあって、長者原にある石上神社を氏神としている。角欠には葛西の頃「七つ館」という館があったが、その館主が氏の氏神として、或いは館の守護神として秋葉神社を勧請したものと思われる。間内の新山権現には樹齢三百年を超す松の大木があり地面を十メートルも這っていたので、「臥龍の松」といわれたが現在はなくなっている。又この権現には寛政十戊午年八月十七日と刻まれた鰐口が向拝の上に掛けられている。柳沢の奥の方には溜池がいくつもあって、中の口溜池のほとりには、槌棒程の太さの大蛇「中の口太郎」が巣喰っているといわれた。



沼崎区集会所

沼崎 (ぬまさき)

沼崎区は蕪栗沼に突出した台地で縄文時代人が住んだ竪穴式住居跡があり、古くから人が住みついた所である。近世になっては八嶋家という長者が居住した。沼崎は「ぬまさき」と清音で発音され、「ぬまざき」とは決していわれない。それは、同じ栗原郡内に畑岡村沼崎があって、藩では年貢の上納や文章の配達に間違いが生じて不都合であったので西郷村沼崎は「ぬまさき」畑岡村の沼崎は「ぬまざき」と決めたのだそう。



一ノ曲集落センター

一ノ曲 (いちのまがり)

江戸時代から昭和の初期まで、萱、葦等を産する谷地で迫川や小山田川の遊水地帯であった。昭和九年から同十二年の間に太田秋之助氏等が開拓開墾して現在は美田となった。この谷地を迫川は蛇行をくり返して流れ、十曲八巻といわれたが、今、これを数える人はいない。一ノ曲は新川の最初の曲りで、各曲りにはそれぞれ呼び名がついていたが、河川の改修で地形が変わり、曲りもなくなり名前も消えてしまった。開墾完了後は入植居住者の数も増え集落が形成され、俗称で太田開墾、福原開墾と呼んでいたのを統合して、以前の呼び名「一ノ曲」を使用することとし、現在の行政区名となっている。



苔上区多目的集会施設

苔上 (こけかみ)

苔上区は、元禄の頃には既に集落が出来ていたと思われるが、その頃は湿地帯が多く柳が繁茂し、地には厚く苔が覆っていたものと想像される。だから苔野谷地の名がついたという。地下0.5～1メートルのところには「もくれ」と呼ぶ層が拡がって沖積期に入ってこのかた、葦・萱に蔽われた原野だったことが判る。又、野生の葉菜が自生して、昔はこれを常食したという。なんでも、「弘法大根」とかいったそうだ。



平貝集落農事集会所

平貝 (ひらがい)

浅野清雄氏の門口の東側に三坪程の池がある。古文書に語られるところでは、昔この池には大きな九穴の貝がいたそうだ。この貝は高いところを崩し低いところを埋めて平らにするくせがあったので誰いうことなく平貝と呼ぶようになった。この貝はそのうち伊勢の海へ飛び去ってしまったが、今でも池の底には貝殻の跡がはっきりと残っているそうだ。



須崎農事集会所

須崎 (すさき)

「崎」と呼ばれる所は陸地が海や湖に突き出た突端をいうので、「須」は中洲などというように砂地の意味であろう。南方町がかつて低地は一面に水に覆われ、須崎山が半島状に突き出て、その先に青島が浮んでいた。そんな地形を須崎という地名は示しているようだ。須崎の中央の辺りに羽山権現が集落の氏神として鎮座している。この神社の別当は代々遠藤栄一氏の家で受け継いで来たが、その先祖は慶長八年大阪落城の時の落武者で三人兄弟であった。一番目は女で遠藤栄一氏、二番目は東内といい遠藤正義氏、三番目は佐々木佐太男氏の先祖である。須崎部落はこの三軒から始まったといわれる。

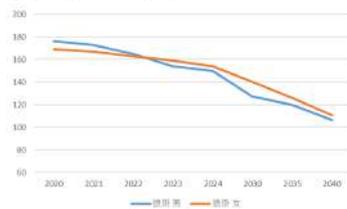
人口推移データ

▶行政区ごとのこれまでの人口構成推移とこれからの予測値

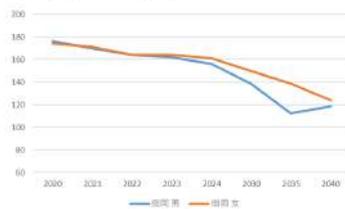
人口		行政区別人口統計				基準値	予測値		
		2020	2021	2022	2023	2024	2030	2035	2040
狼掛	男	176	173	165	154	150	128	120	107
	女	169	167	163	159	154	140	126	111
畑岡	男	176	170	164	162	156	139	112	119
	女	174	171	164	164	161	150	138	124
柳沢	男	237	232	225	220	211	188	175	171
	女	198	193	185	183	185	172	152	142
沼崎	男	158	157	155	149	153	148	142	138
	女	162	160	155	156	148	135	124	112
一ノ曲	男	173	172	166	158	151	131	122	113
	女	184	181	180	174	168	153	148	138
苔上	男	105	105	105	115	111	118	104	101
	女	110	109	105	109	107	101	90	92
平貝	男	75	79	78	76	74	73	67	54
	女	64	68	65	64	64	64	60	48
須崎	男	96	90	89	82	79	65	62	57
	女	82	83	83	81	80	78	65	58
地区合計	男	1,196	1,178	1,147	1,116	1,085	990	905	859
	女	1,143	1,132	1,100	1,090	1,067	992	903	825

※このページの予測値については平成22年3月末～令和6年3月末までの人口変動値を算出し、行政区ごとの令和6年3月末の人口値に掛け合わせて試算したものです。

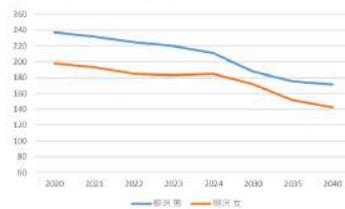
狼掛地区人口推移グラフ



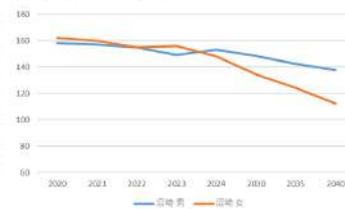
畑岡地区人口推移グラフ



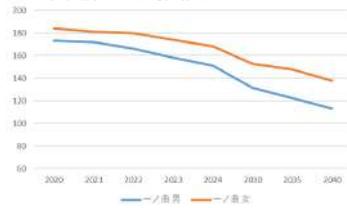
柳沢地区人口推移グラフ



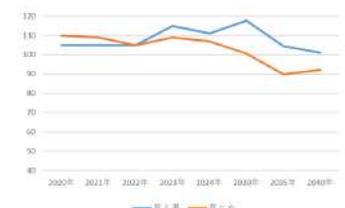
沼崎地区人口推移グラフ



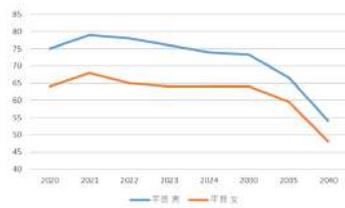
一ノ曲地区人口推移グラフ



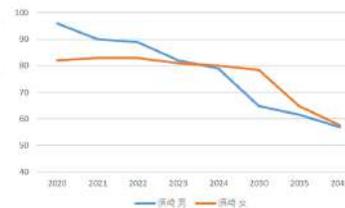
苔上地区人口推移グラフ



平貝地区人口推移グラフ



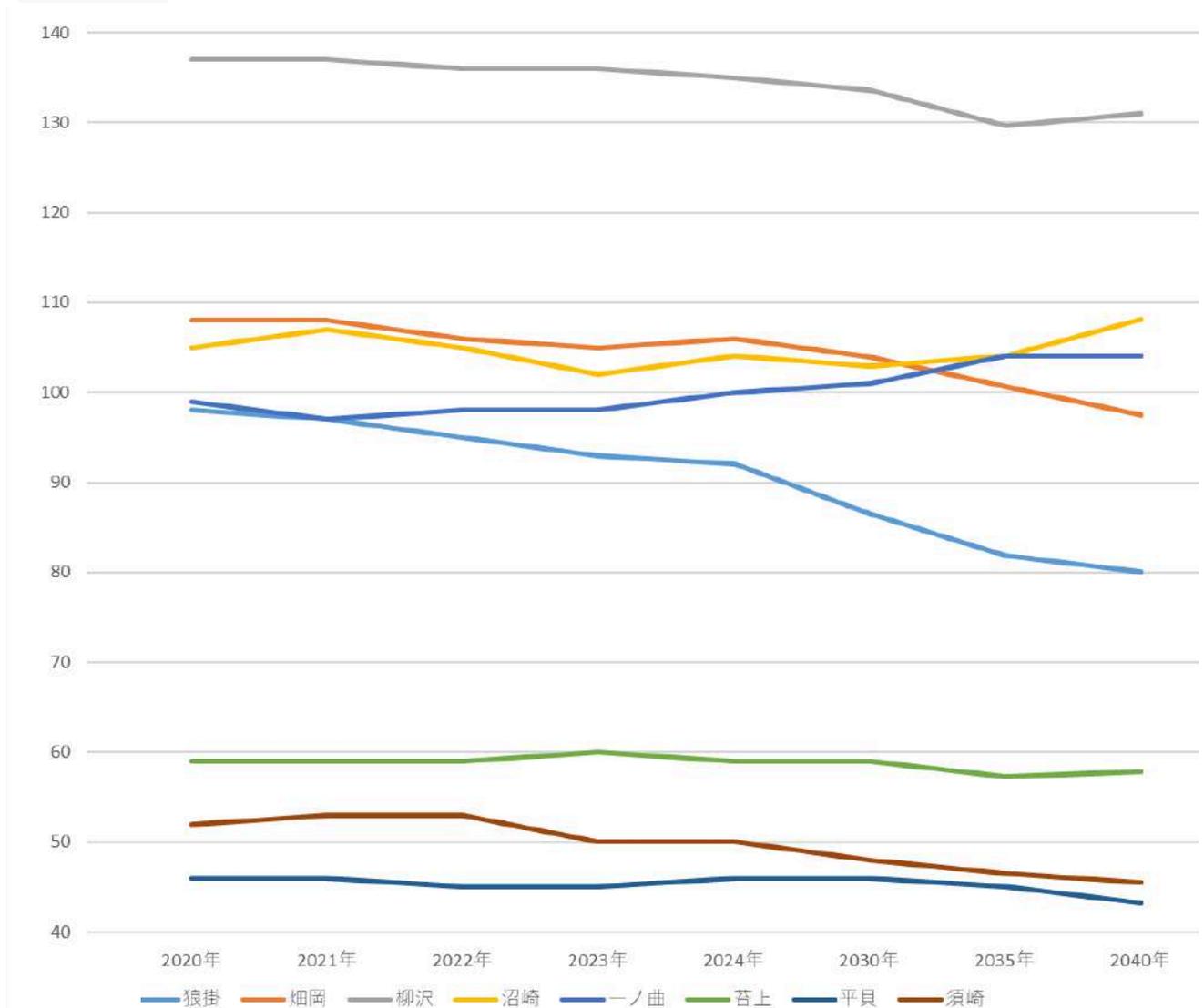
須崎地区人口推移グラフ



▶行政区ごとのこれまでの世帯構成推移とこれからの予測値

世帯数	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 基準値	2030年	2035年	2040年
狼掛	98	97	95	93	92	86	82	80
畑岡	108	108	106	105	106	104	101	98
柳沢	137	137	136	136	135	134	130	131
沼崎	105	107	105	102	104	103	104	108
一ノ曲	99	97	98	98	100	101	104	104
苔上	59	59	59	60	59	59	57	58
平貝	46	46	45	45	46	46	45	43
須崎	52	53	53	50	50	48	47	46
地区合計	704	704	697	689	692	681	669	667

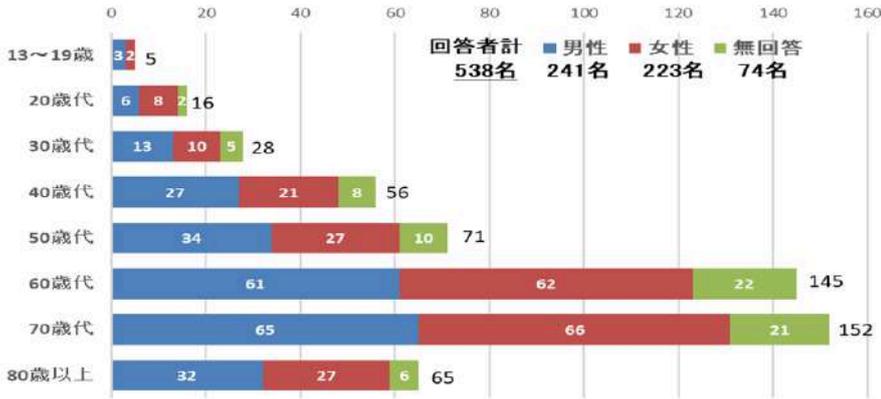
▶行政区ごとのこれまでの世帯構成推移のグラフ



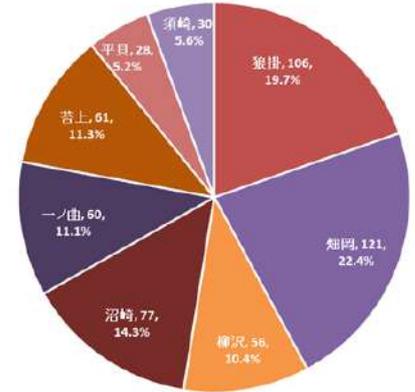
西郷地区住民アンケート

※アンケートの設問により、未回答があるため合計値が異なっています。

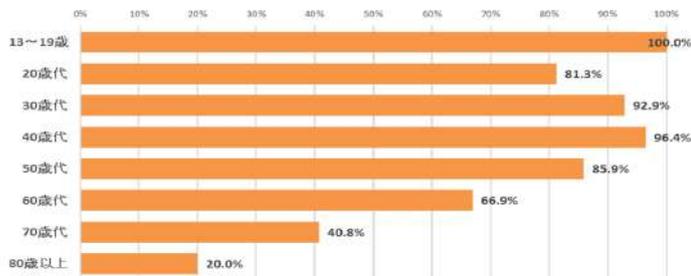
●回答者属性



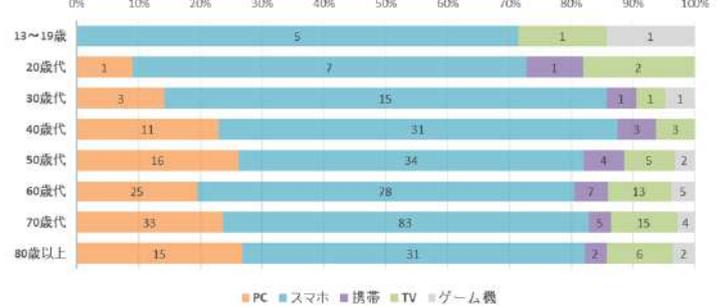
●回答者行政区



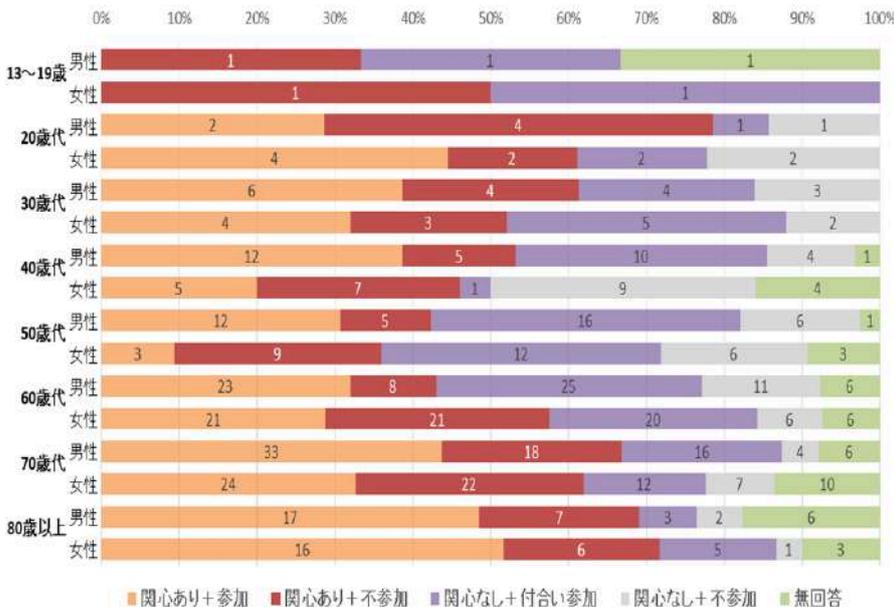
●インターネットの利用率



●インターネットを何で利用するか



●地域活動への関心



(理由) 関心があって参加している

- ・楽しい時間を過ごすため参加することは大事
- ・交流する機会
- ・コミュニケーションを取るのには必要だから
- ・皆と話が出来る楽しい
- ・年間計画があるので参加しやすい

関心があるが参加はしていない

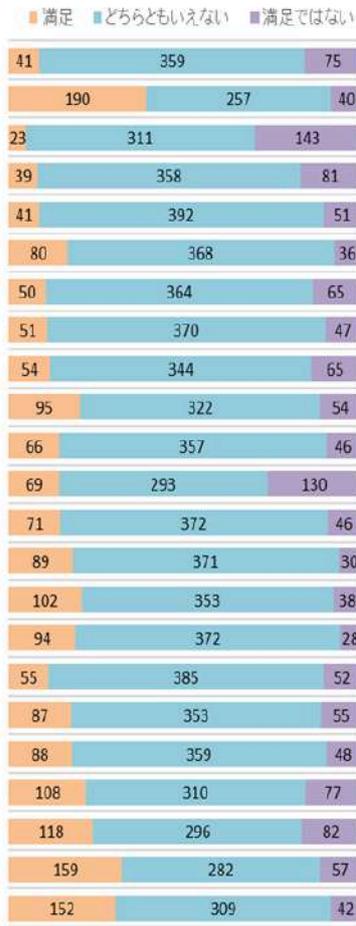
- ・家族の送迎などで忙しい
- ・日程や時間が合わない
- ・介助が必要
- ・介護をしている
- ・仕事がある
- ・通院中
- ・活動を知らない
- ・時間が無い
- ・健康面の不安
- ・変則勤務のため
- ・勤務先が遠い
- ・土日は家庭日
- ・土日が仕事

関心もないし参加もしたくない

- ・体力がない
- ・面倒
- ・仕事で忙しい
- ・噂などがわずらわしい
- ・関わりたくない
- ・自分の時間が減ってしまう
- ・柔軟な発想が無い
- ・コミュニティが嫌になった
- ・家族が参加しているから
- ・色々言われるから
- ・若い頃参加してたから
- ・高齢者が多く嫌だ

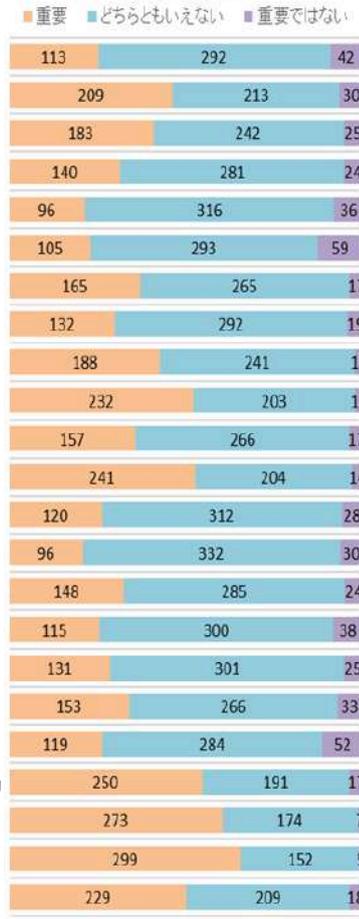
● 地区内での取り組みに対する評価

満足度

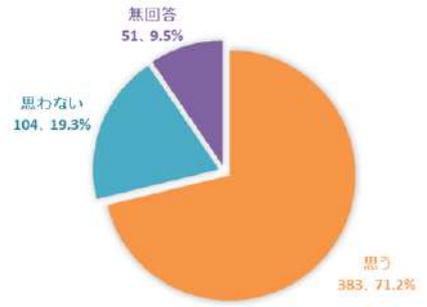


- 地域・集落内の付き合いについて
- 防災・救命など消防活動について
- 避難訓練・連絡体制など、防災活動
- 見回りなど、防犯・交通安全活動
- 祭りなど、祭礼・イベントについて
- 神楽など、地域の伝統芸能の伝承
- 史跡など、歴史に関する保全活動
- サークル・教室など、生涯学習活動
- 健康体操、健康づくりに関する活動
- ものづくりや料理など、趣味的な活動
- 地域の茶の間、生きがいがづくり活動
- 買い物・通院など、移動支援活動
- 子ども会など、子ども対象の行事
- 登下校の見守りなど、子どもの安全活動
- 子育てなどの相談が出来る場や人
- 保護者同士が気軽に交流できる場
- 日常的な不安や悩みが相談できる場や人
- 運動会など、地域のスポーツ大会
- 散策・収穫体験など、地域の魅力体験活動
- 特産品の開発など、地域物産を販売促進活動
- 人の住んでいない空き家の状況把握、対策
- 広報誌や回覧板など、地域内での情報提供
- ITを活用した住民向けの広報・連絡

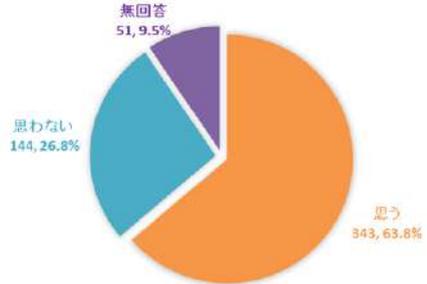
重要度



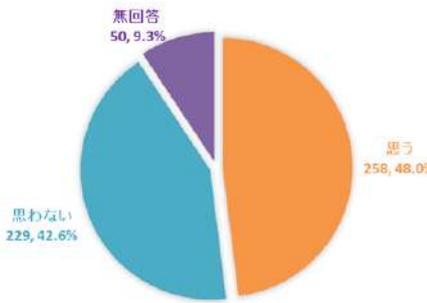
● 若者・女性の意見反映



● 定住者の受入れが必要



● 他地域との交流は必要

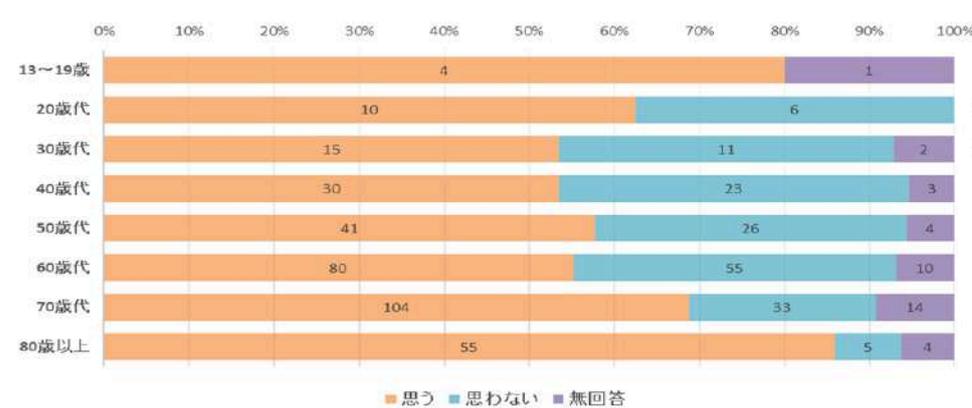


● この地域・集落に住み続けたいか



- 思う**
- ・ずっと住んでいるから
 - ・空気がきれい
 - ・自然が豊か
 - ・今が楽しい
 - ・平穏
 - ・実家がある
 - ・暮らしやすい
 - ・災害が少ない
 - ・愛着がある
- 思わない**
- ・限りある人生なので移住したい
 - ・若い頃であれば出たかった
 - ・温かさを感じない
 - ・大きな店やスーパーが無い
 - ・交通不便
 - ・何も無い
 - ・買い物不便
 - ・奉仕作業が多い
 - ・煩わしい人付き合い
 - ・働く場が無い
 - ・市街地が遠い
 - ・高齢者が住みにくい
 - ・面倒臭い
 - ・理想の生活が出来ない
 - ・環境整備不足
 - ・周りに家が無い所が希望
 - ・若い世代の負担が大きい

● 自分の子どもに、この地域・集落に住み続けてほしいか



- 思う**
- ・皆で食事が出来る
 - ・静かでよい地域
 - ・助け合える幼馴染がいる
- 思わない**
- ・子どもの自由意思
 - ・何つけても不便
 - ・職業が不足
 - ・遊び相手不足
 - ・充実した環境で
 - ・人口減少地域
 - ・住みにくい
 - ・親の送迎が必要
 - ・子ども会も縮小され小学校も統廃合
 - ・病院も遠い
 - ・未来が見えない
 - ・可哀そうだ
 - ・街灯もスーパーも無い
 - ・低賃金
 - ・田舎だから
 - ・公共施設や商業施設が近くに無い
 - ・地域の発展性の問題
 - ・めんどう
 - ・車無しでは生活出来ない
 - ・学校が無くなる心配
 - ・地域内の交流が無い
 - ・外に出て欲しい
 - ・集落の集まりが無い
 - ・メリットが無い
 - ・他人の家庭に踏み込んでくる
 - ・孤立化
 - ・地球単位で生きて欲しい

西郷地区データ

交通

- ・バス：路線バス
- ・道路：県道古川～佐沼線
(登米市内で交通量が一番多い)

産業・特産品

- ・米
- ・牛
- ・桃

教育施設

- ・登米市立西郷小学校

主な公共施設

- ・登米市消防署西出張所
- ・登米市西郷公民館

主なスポーツ施設

- ・総合運動場

文化財(登米市指定)

- ①民族文化財：畑岡神楽
- ②史跡：一里塚/長者原貝塚
平貝の清水

西郷地区の伝説

- ①狼掛区：尼池地蔵/流薬師/生江氏と宗恵寺
- ②畑岡区：畑岡八重藤/青笹
- ③柳沢区：角欠け桜と蹄の泉/大平お夏
- ④沼崎区：御疱瘡神/勘九郎地蔵/石上神社
- ⑤一の曲区：十曲八巻
- ⑥平貝区：天満宮/高橋傳久先生の碑/壇のぐし/
巴川の碑
- ⑦苔上区：一里塚/三宝荒神/穴山
- ⑧須崎区：笠松/羽黒大権現/護洋神社

まつり・イベント

- ・西郷地区夏祭り
- ・西郷地区ふれあいスポーツ大会
- ・にしごう企画展

地域づくり 計画策定会議



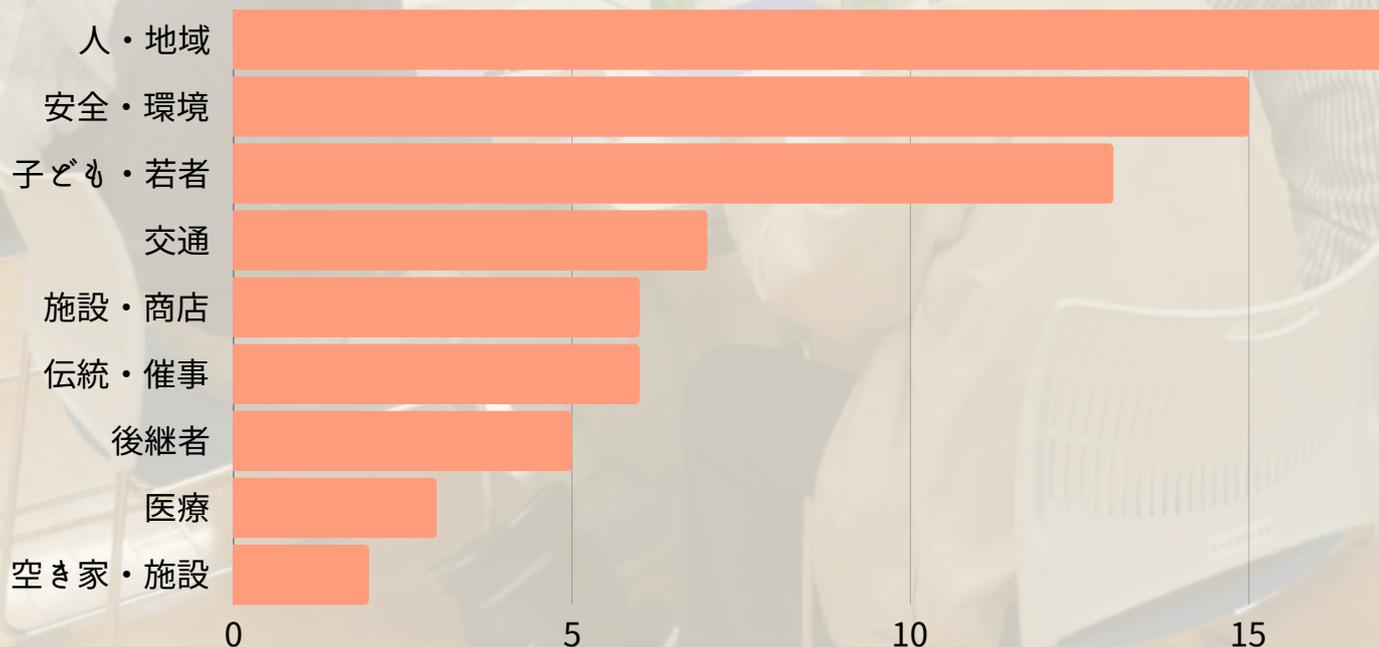
令和2年に策定した西郷地区地域づくり計画。
地域の沢山の人が参画し、進めてきた5年間の事業を振り返ると同時に
「これからの西郷」を見据える為

西郷に想う事

をテーマとし、ワークショップを開催しました。
地域づくり計画策定委員がグループワークを行い、地域に住む人達を感じる身近な
【お困り事】や【もっとこうしたら良くなる】という意見を共有し合う事で、既存の計画を
さらに進化させる内容となりました。

会議日程	会議内容
第一回策定会議 令和6年9月19日(木) 19:00～20:00	①委嘱状交付 ②地域づくり計画について ③『西郷に想うこと』についてのワークショップ
第二回策定会議 令和6年10月17日(木) 19:00～20:00	①西郷に想うことの解決方法と具体化にむけたワークショップ ②西郷地区産のお米の食べ比べ試食
第三回策定会議 令和6年11月21日(木) 19:00～20:00	①過去の事業についての評価と意見収集 ②アイデアの具体化に関するワークショップ
第四回策定会議 令和6年12月19日(木) 19:00～20:00	①住民アンケート結果のフィードバック ②地域づくり計画の事務局案提示 ③計画に対する意見交換
第五回策定会議 令和7年2月20日(木) 19:00～20:00	①第3次 西郷地区地域づくり計画書について

西郷に想う事



※記載の意見は地域づくり計画策定会議の期間(令和6年9月19日～12月19日)に参加された策定委員のメンバーより頂いた意見となります。

意見のプランニング

PLAN-1

美化活動としての
クリーン作戦実施



ゴミの多い場所や
危険箇所をマッピング



防災・減災マニュアル
の制作に繋げる



PLAN-2

買い物に行くのが困難
近くに商店もない



送迎可能な車を借りたり
するサービスがほしい



事前予約制で使えると
便利では??



PLAN-3

お祭りやイベントの
参加回数に違いを設ける



参加時にスタンプラリーを
するのはどうか?



スタンプの数に応じて
景品を交換しては?



PLAN-4

夏祭りで盆踊りならぬ
神楽総踊りはどうか?



学校で習った子ども達が
先生になって指導



SNSで発信し、帰省層や
若年層の参加も!



PLAN-5

子ども達と一緒にクリーン
作戦を実施する



子ども目線の危険箇所と
看板設置箇所の
共有をする



子供達から一緒に看板の
デザインを募集
する



集まったイラストを掲示
してもらおう
機会を作る



掲示作品を看板にし、
子どもたちと一緒に
作るワークショップ
を開催する



計画への反映



地域住民の
居場所づくり

公民館を開放して地域のみなさんの為の活動の場所を提供
子供たちの勉強の場や**気軽に来られる仕組みの構築を運用**

子ども達が公民館に勉強を
しに来館する姿がある。



もっと気軽に来れるよう館内にお絵描き
コーナーと地区マップを掲示する。



- イラストはキャラクター募集やテーマに沿って実施
- 地区マップには子ども目線の危険箇所など画紙で見える化

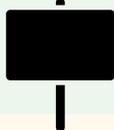
自主防災マップの
参考にしたり



スタンプラリーのイラスト
に活用したり



危険看板に活用
したり



集まったイラストの
展示をしたり



防災・減災対策
の推進

防災意識の向上、コミュニティだよりなどで危険箇所の周知、
小学校と連携した多世代による防災・減災対策の推進



防災・減災の取り組みで
学校との連携が取れている



多世代を巻き込んだ
防災・減災の推進を図る

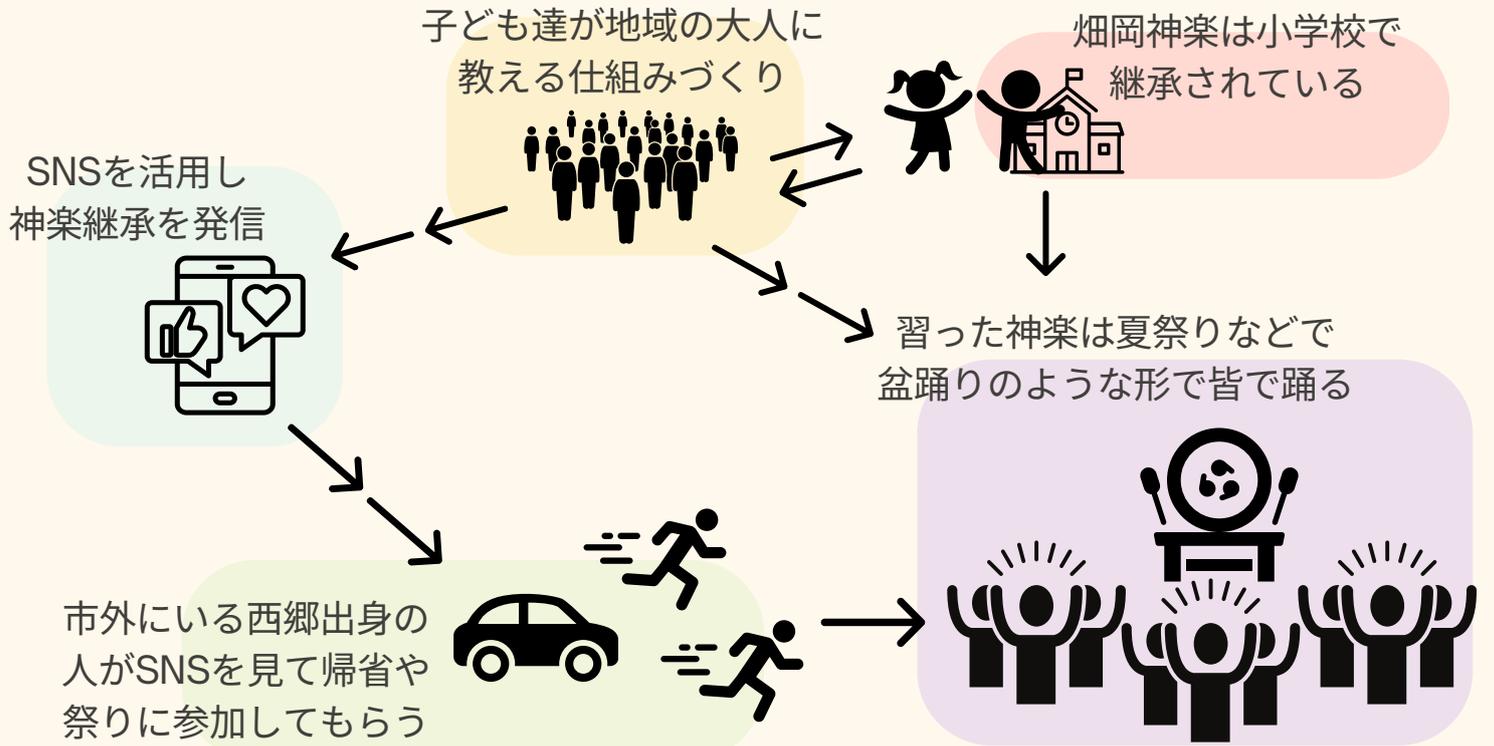


意識向上として危険箇所の
周知や見える化を行う



にしごう
夏まつり

夏まつりを通し、住民参加型の畑岡神楽演舞や
伝承の仕組みづくり



しずのRe活用

地域資源である平貝清水の水質調査の結果を参考に、資源の利活用方法の検討、企画、実施に取り組む

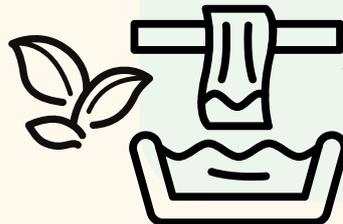
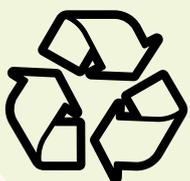
過年の地域づくり計画で平貝清水の水質調査を実施



飲み水には適さないが使い方はないだろうか？

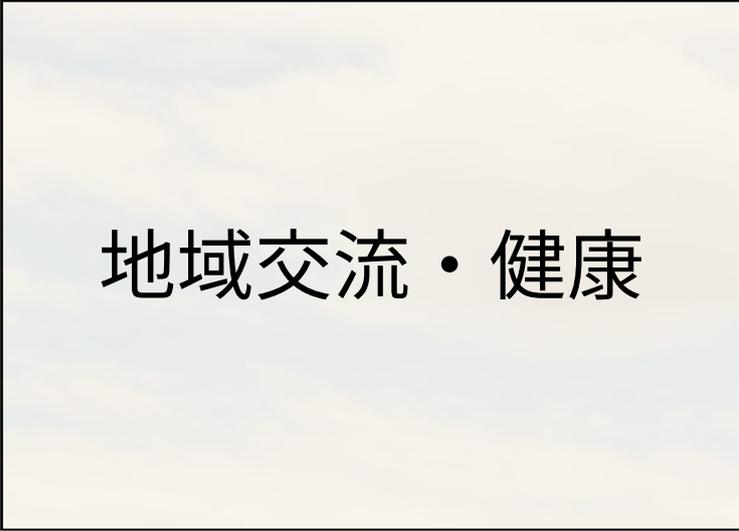


3Rのような活用を清水の水を用いて検討してく



清水の水を活用した”染め物”などの活用が出来ないか？
地域のオリジナル商品にも、、、

地域づくり計画更新

テーマ	計画目標
 <p>地域交流・健康</p>	<p>つながりある 元気な地域</p>
 <p>安全・安心</p>	<p>ささえあう地域</p>
 <p>文化・生活環境</p>	<p>みんなを守る地域</p>

みんなが主役 心かよい合う にしごう

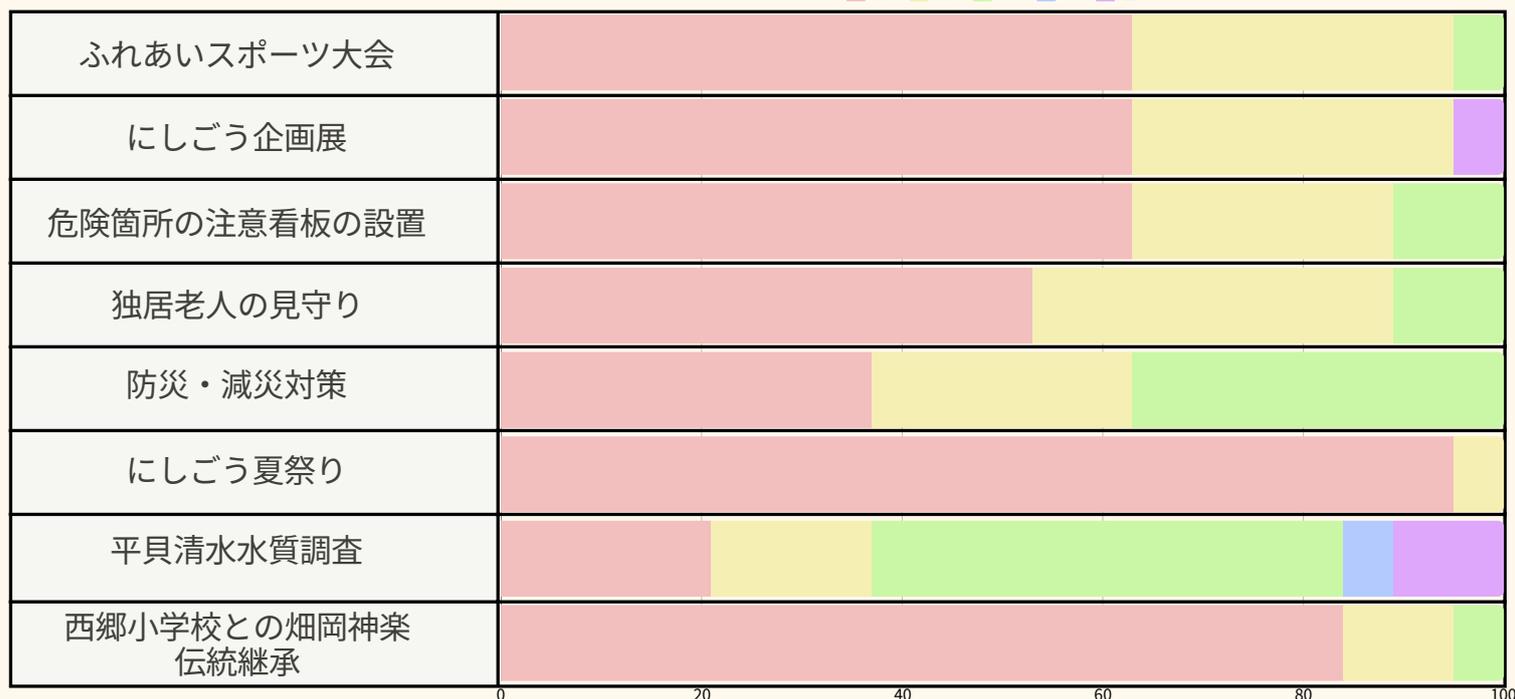
事業名	具体的な内容例
ふれあいスポーツ大会	世代間交流と親睦を深め、心と身体の健康を増進する
にしごう企画展	公民館行事で創作した作品などの展示や、若い人たちが参加できるイベントの開催
地域住民の居場所づくり	公民館を開放して地域の皆さんの為の活動場所を提供子ども達の勉強の場や気軽に来られる仕組みの構築
子どもの安全・安心あいさつ運動の励行	老人クラブで組織する安全見守り隊への支援
防災・減災対策の推進	防災意識の向上、コミュニティだよりなどで危険箇所の周知、小学校と連携した多世代による防災・減災対策の推進
高齢者世帯への支援活動	高齢者1人暮らし世帯の見守り活動
花いっぱい運動	地域美化活動の支援
にしごう夏まつり	今までの夏まつりを見直し、まつり開催時の住民参加型の畑岡神楽演舞や伝承の仕組みづくり
しずのRe活用	地域資源である平貝清水の水質調査の結果を参考に、資源の利活用方法の検討、企画、実施に取り組む

既存事業における評価と意見

策定会議では、会長、副会長を含めた策定委員全員の皆様へ”これまでの事業”に対する評価を頂きました。各事業に対し○・×等の項目で評価と、自由記述による意見を頂き、新しい計画のベースを確認しました。

事業名	◎	○	△	×	空欄
ふれあいスポーツ大会	12 (63%)	6 (32%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)
にしごう企画展	12 (63%)	6 (32%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (5%)
危険箇所の注意看板の設置	12 (63%)	5 (26%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)
独居老人の見守り	10 (53%)	7 (36%)	2 (11%)	0 (0%)	0 (0%)
防災・減災対策	7 (37%)	5 (26%)	7 (37%)	0 (0%)	0 (0%)
にしごう夏祭り	18 (95%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
平貝清水水質調査	4 (21%)	3 (16%)	9 (47%)	1 (5%)	2 (10%)
西郷小学校との畑岡神楽 伝統継承	16 (84%)	2 (11%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)

◎ ○ △ × 空欄



各事業に対する自由意見

ふれあいスポーツ大会

- 自分は参加していないが参加者100人越えは素晴らしいことなので継続してほしい。
- グラウンドゴルフには参加したことはないが、過去にユニカールや輪投げに参加し子供（当時小学生）もお年寄りの方とチームになって楽しんでいました。
- 室内競技が現在、実施できませんが屋外競技をグラウンドゴルフ以外の何かを検討してはどうか。例えば競技以外でも遠投、なわ飛び屈伸等などの個人の体力測定なども面白いと思う。
- 西郷地区のコミュニケーションの場として大変良い。
- 参加者多い。残念なのは老人が多い。
- 毎年参加者が多くふれあいの場としてはとても良いと思います。
- 参加者も多く世代間交流の大会としても良いと思う。
- 地区交流事業として大変好評である。
- 世代間交流の場となれば良いと思う。
- 人気がある行事なので続けてほしい。
- 西郷地区が全地区参加し進めることは大変素晴らしい。成績については地区対抗や年齢別等とさまざまな企画を増やすと良いと思う。
- 雨で中止になったことがあるので雨でも何かできる施設がほしい。
- 昨年は雨のため中止になったが高齢者でも気軽にできるスポーツなので続けて開催していきたい。
- 今年初めて参加させてもらう予定です。子供は大変楽しみにしており私も地域間交流が楽しみです。
- 数少ない交流の場として善いと思う。雨天中止の場合は屋内でできる代替案があっても良いと思う。
- 150人超の参加者があり（世話人含め）二大イベントの一つなのでなくすことはできない。もう少し小学生の参加が多ければ良いと思う。
- 昨年のグラウンドゴルフは雨天の連絡がなく参加者が集まってからの中止になり連絡の大切さが課題である。

こけりっつ企画展

- とても良い企画展でした。
- 開催を知らない人が多いかもしれません。
- 各教室の発表の場として良い。
- 物を作りアイデアを出しながら楽しそうだと思います。
- 他の地区からの参加があり良かった。
- 大変良かった。ただ、今後は新しい企画も必要。
- 個人ごとの作品を展示して見せるのはとても良い企画だと思います。
- 製作した作品を皆さんに見てもらえる場があるのは良いことだと思います。
- 公民館事業の各教室講座の発表披露の場として実施することは必要と思う。
- 各教室からの参加者の作品が見られて良いが、少し見学者が少ないと思う。
- 大変に素晴らしい事業ですが出品者の搬入搬出が大変だと思う。場合によっては即売会をされてはどうでしょうか。
- 個人の中々見ってもらえないクラフト物を展示できるのは作者にとってかけがえのない喜びではないでしょうか。
- 本人の自由意志ではあるが、制作物を展示、発表できる場や機会があると今後の励みになって良いと思う。
- とても良い企画展だと思います。遊びコーナーも子供たちが喜びます。
- 年に一回、西郷地区の方々の作品が一同に展示されサークル活動の方々の意欲の増進にも繋がるので今後も続けてほしい。
- 特に年輩の方は趣味や特技の発表ができるので色々な企画の一つとして必要と思います。スポーツや歌だけでなくこの様な企画は必要と思います。
- 一年間の事業の仕上がりとして立派な作品が展示されている。もう少し展示場所の広いスペースがあればもっと作品が輝いて見える。

危険箇所の注意看板の設置

- 良く見かけます。必要だと思うのでぜひ！
- 子どもたちのためになるので良いと思う。
- 小学校統合により学校へのルートが変わる。
- PTAとの協力のもとすばらしい事業と思う。
- 屋外での遊びが少なくなっているとはいえ危険を喚起することは必要。
- 目立たないのもっと奇抜で良い。
- 是非、継続していただきたいです。「飛び出し坊や」の設置も検討していただきたいです。
※西郷のセブンイレブンの裏通りを入ったところに木の柵しかない水の堀があり子を持つ親としてとても心配です。対策をお願いします。
- とてもいいと思う。子供より大人が注意しなければいけない場所の確認作業でもあると思う。
- 設置する看板が西郷小学校の生徒が描いた絵であることも注目できて良いと思う。
- 通ってよく目にする様になりました。前よりカラフルになって見やすいと思います。
- 大変な事業だとは思いますがちょっとでも安全な地域づくりに役立てば良いと思います。
- 看板の設置は必要であります、続けてメンテナンス等の継続した活動が今後とも必要と思います。
- 子どもだけでなく地域の方々も危険箇所の把握ができるので良い。
- 看板設置は必要だと思うがもう少し看板が多くなり設置場所を増やす方法も考えていかなければならないと思う。
- 大変大事なことですが、別団体の指導のもとで実施されては各行政区の区長の協力も求めてどうか？

独居老人の見守り

- 高齢者の刺激になって良い。
- 独居高齢者のためになるので見守りを続けてほしい。
- 初めて知りました。とても素晴らしいことだと思いつけていただきたいです。
- 相手のある事なので難しいと思うが必要なことだと思う。
- 昔は茶飲みに会いに行ったりとの交流があったのだが時代でしょうね。花はとてもいいですね。
- 独居高齢者の方々から感謝されて大変やりがいのある事業です。
- 高齢者との話す場が少ないので良いことであり、高齢者から喜ばれています。
- 花を届けるだけでなく、話し合う機会が必要。
- お花を配ると皆さん喜んでくれるので良いと思う。でも世話をするのが大変かな？
- 家を訪問するから集まりに参加できる環境への意欲作り希望。
- 大変に喜ばれております。独居者以外の高齢家族等にも配布して色々と会話をするようになれば良い。
- これまでと趣向を変えたことは大いに評価したい。趣向に変えた経緯は判らないが高齢者のニーズを反映できる贈り物を年々取組めたら良いと感じる。
- いずれ誰でも通ることになるかもしれません。いつでも地域とのつながりを持つことが、その人にとって大事なことになるのでこれからも高齢者世帯を含めて活動をするのは良いと思います。
- 年に一回だけ花を届けるのは良いが見守り回数を民生委員と連携を図りながら回数を増やすといいかもしれません。
- 年々少なくなっている対応者をどうするか、例えば年齢の変更、高齢者二人暮らし等も対象にできないか

にしごう夏祭り

- 思い出づくりに良いイベントだと思います。
- 夏まつりは楽しみにしているので続けて開催してほしい。
- 子供たちも楽しんでいたので良かった。
- 参加者が多い。近所の人が多かった。
- 特になし。大変良いと思います。
- 毎年少しずつ良くなっている。
- 気軽に参加できる祭りなのでもっと賑わうと良いですね。
- 年一回の最大のまつりであり500人超の参加者があり役員同士の絆も深まり達成感もある。
- 大変良いと思う。準備が大変であるが盆踊りもしてみたい気持ちも個人的にもある。
- 参加者も多く地域に馴染んできている。継続して実施してほしい。
- 今年は参加できませんでしたが、昨年は参加させていただきました。印象として楽しいのですが、とても暑くて最後までいるのが辛かったのでもう少し夕暮れ時だと助かります。
- 関係者として初めて参加しました。天気も良くて最高でしたね。「こんなに人が集まるのか！！」とびっくりしましたし子供たちも年齢幅広く遊びに来ていて見て楽しかったです。お疲れ様でした。
- 今年は15:30～17:30まで？の開催時間でしたが来年は17:00閉会でも良いと思いました。小さい子供たちの帰宅（生活）時間を早めに。
- 今の時代では減少傾向にある行事になりつつありますが、地域の人との繋がりや交流と歴史（神楽）などを伝えることも大事な場となるので続けてほしい。
- 暑い時期の開催であり健康管理が大変と思う。本来であれば夕方ので少し涼しくなったからの開催としてはどうか。大変好評の事業であり継続して行ってほしい。
- 参加人数も多く企画が定着してとても良いと思う。時期については夏の暑さ等も考慮して検討した方が良い。
- 今年は事情があって暑い時期になったがもう少し早めに少しでも気温が低い時期が良いと思う。参加者の中で時間が長すぎると話していた。

防災・減災対策

- 忘れないよう、意識することが大事だと思っているので続けてほしいです。
- 災害を忘れない為にも続けてほしい。
- 体験できる減災対策もあれば、、、(何か一つ) もっと我がことのように感じるのでは？
- 防災意識がもっと高くなるよう多くの方に見てほしいと思う。
- 企画展での展示だけだったが当時の災害が、、、、、、
- 災害が比較的少ない地域であり、あまり本腰が入っていない。
- いずれにしても生活する上で避けては通れないことなので継続して広めていく企画と思います。
- 実施する内容が同じ、他地域で違った内容があれば調査が必要。
- 行政区単独の行事は十分ではないので西郷地区の防災訓練を実施してはどうか。
- 消防団や青年会等にも協力してもらい声を掛け合う。
- 展示は見えていないのですが、とても興味深いです。自分の家族ではどのような備えが必要かなど知りたい。子供も防災について学べる企画があると嬉しいです。
- 人が多く集まる機会に抱き合わせで実施することにより多くの人々に参加してもらえらる。基本的なことは必要とし理解して欲しい。
- 実行することも大事ですが、ビデオ上映など講演会形式で短時間で終了することも検討してみてもは。
- 空き家が増えており家屋等の管理が心配である。ぜひ今後どうしたら良いか検討していくべきである。
- 展示を知らなかった。

平貝清水水質調査

- 安全面の確認は大事だと思う。
- 飲料「適」になるようがんばって下さい。
- せっかくの調査を何かの形で活かしてほしい。
- 水質があまり良くないようである。
- 飲料として飲んでる人がいるのか気になった。
- 文化財との関係で整備が進んでいない。事業の検討を要する。
- これは今日初めて知りました。
- すみません、良くわかりません。
- 環境（ゴミ等）を変えることからだと思ふ。
- 貴重な資源ではあるが維持管理が難しく病気の発生源になりかねないと思慮される。
- コミュニティは場所を借りてイベント等の実施をしたり水質調査は観光課などで実施すべきだ。
- 大変残念な現状になっており、地域がもっと手をかけていくことも項目の内容では必要。
- まだ行ったことがないので（初めて知った）どんな所か出かけてみたいと思う。人の手が入らないとどんどん廃れるので環境整備は細々とでも継続してほしい。
- 当初はもう少し整備する事業で話合うべきだ。文化財の関係で手を入れられないとのことで今の事業となっているが中学生の生徒などがボランティアで参加してくれたりして関心する。

西郷小学校との畑岡神楽伝統継承

- これは残したい。自分も覚える。
- 大切なことだと考えます。ずっと末永く続きますように。
- 小学校が合併した後も畑岡神楽をやっていくのか？
- 自分も神楽を披露してたので続けてほしい。
- 小学校合併後の継承が課題かなと思いました。
- 南方町内の3小学校合併までは神楽を継承してほしいと思います。
- 継続していきたい。
- 合併後も継続してほしい事業である。
- 神楽の伝統継承は大切だ。指導者の確保が急務。
- 大人も一緒にやったらもっと楽しいと思う。
- 伝統を継承していくことの重要性も考え是非続けてほしい。
- 学校統合により今後の継承が心配。指導者が高齢化でその対策が必要。
- 近所のお年寄りの方と話した時に神楽は懐かしく見るのを楽しみにしていると聞きました。
- 続けてほしい行事ですが、合併後にはどのようなになるのか心配な面もあります。
- 伝統の神楽がずっと継承していけば良いですね（学校が統合しても）
- 3小学校が統合となっても歴史・文化継承という面でなくしてはならないものだと思う。
- 子供たちの思い出づくりに良いと思う。3小学校統合になった後のことがどうなるのか心配である。
- コミュニティのイベント等に多に参加していただく。文化協会等の連携しコミュニティと文化協会、学校等と話し合い必要。

策定会議で出た意見

人・地域

- ・ コミュニティ町内第1号
- ・ 田んぼが綺麗
- ・ 桜が色んなところで見れる
- ・ 自然が多すぎる
- ・ 海も山も良い具合に近い
- ・ 米が美味しい
- ・ 人が良い、優しい
- ・ 心優しい
- ・ 地区の繋がりが深い
- ・ 心配してくれる人が多い
- ・ 静かによく眠れる
- ・ 近所に知り合いしかいない
- ・ 行事に高齢者参加が多い
- ・ 高齢世帯増加
- ・ 隣人と話す機会が無くなった
- ・ 野良猫が多い
- ・ プール期間延期出来ないか

安全・環境

- ・ 暑くて外出が減った
- ・ 草刈り大変
- ・ 草で鬱蒼とし見通しが悪い
- ・ 街灯が少ない
- ・ 地区メールが欲しい
- ・ 地域連絡網が欲しい
- ・ 千本桜都土手の草刈り希望
- ・ 千本桜シロヒトリ対策
- ・ 一斉清掃計画的に希望
- ・ 道路の白線が消えている
- ・ セブン近隣の水栓危険
- ・ 田んぼの水出しすぎ有
- ・ 道路のポイ捨てやめて
- ・ 挨拶に立つのが意味ない

子ども・若者

- ・ 子ども少ない
- ・ 子どもが少ない
- ・ 子どもの数が少ない
- ・ 子どもの姿を見ない
- ・ 若い子が少ない
- ・ 若い子が出てこない
- ・ 小学生が少ない
- ・ 小学校で遊んでいる子どもが少ない
- ・ 青少年活動希薄
- ・ 子どもへの挨拶がしにくい
- ・ 子どもの行事が成り立たない
- ・ 子育てサポート
- ・ 公民館の子どもへの対応ありがたい

交通

- ・ 交通不便
- ・ 移動手段が少ない
- ・ 介護タクシー式の運転可の車が欲しい
- ・ 住民バスの時刻が分からない
- ・ 住民バスと市民バスの連携
- ・ カーシェア出来ないか
- ・ 専用線を飛ばす車

施設・商店

- ・ 体育館が無くなった
- ・ 企業がない
- ・ 佐沼へ行かないと困る事多い
- ・ 商店少なく買い物が不便
- ・ 飲み屋が少ない
- ・ スーパーがない

伝統・催事

- ・ 1事業に人が集まりやすい
- ・ イベントを知らない人多い
- ・ 西郷祭り暗くなる前に閉会
- ・ 昔の行事が出来ない
- ・ 神楽継続
- ・ グランドゴルフいい事だ

後継者

- ・ 高齢化で今後の田んぼをどう考える
- ・ 地域組織未加入世帯増加
- ・ 役員のなり手がいない
- ・ 役員のなり手少ない
- ・ 後継者不足

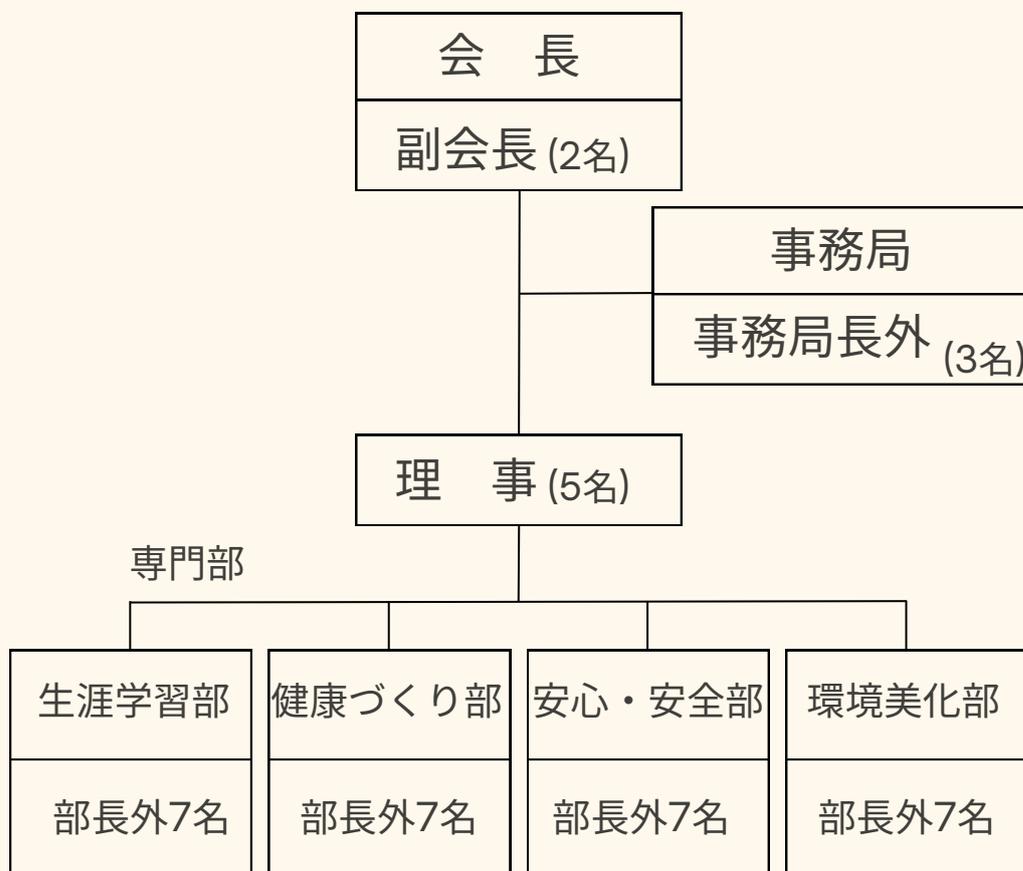
医療

- ・ 病院遠い
- ・ 通院不便
- ・ 病院がほしい

空き家・施設

- ・ 空き家増加
- ・ 空き家が増えてきた
- ・ 西郷幼稚園の利活用
- ・ 企業誘致し就業促進

西郷地区コミュニティ推進協議会 組織図と策定委員名簿



令和6年度西郷地区コミュニティ推進協議会策定委員名簿

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	堀内 正孝	策定委員	千葉 由美	策定委員	日野 智貴
副会長	田代 正美	策定委員	佐藤 啓	策定委員	高橋 裕子
副会長	菅原 秀雄	策定委員	佐々木 徳太郎	策定委員	佐瀬 克浩
理事	熊谷 一	策定委員	佐藤 裕子	事務局長	高橋 正浩
理事	小野寺 喜仁	策定委員	後藤 竜二	事務員	高橋 美奈
理事	佐藤 栄喜	策定委員	平井 妙子	事務員	青野 淑子
理事	佐藤 述	策定委員	及川 悟史	集落支援員	高橋 朋子
理事	遠藤 光則	策定委員	野村 ゆかり	まちづくり推進部 市民協働課	佐藤 彩
策定委員	後藤 眞由美	策定委員	佐藤 成幸	とめ市民活動プラザ	佐藤 幸広
策定委員	遠藤 晶子	策定委員	伊藤 由美	一般社団法人LINK	志田 敏典



西郷地区コミュニティ推進協議会

〒987-0432
宮城県登米市南方町堤田38 西郷公民館内
TEL:0220-58-4556
FAX:0220-58-4581

公民館HP



公民館だより



FACEBOOK

